

|         |   |
|---------|---|
| 氏名      | 中村 圭吾   |
| 授与した学位  | 博士  |
| 専攻分野の名称 | 医学  |
| 学位授与番号  | 博甲第 号   |
| 学位授与の日付 | 平成16年12月31日   |
| 学位授与の要件 | 医学研究科内科系内科学（一）専攻<br>（学位規則第4条第1項該当）  |
| 学位論文題目  | Dynamic Induction of ADAMTS1 Gene in the Early Phase of Acute Myocardial Infarction<br>（心筋梗塞早期におけるダイナミックなADAMTS1遺伝子発現の誘導） |
| 論文審査委員  | 教授 大江 透 教授 佐野 俊二 助教授 大内田 守  |

#### 学位論文内容の要旨

細胞外マトリックス分解酵素マトリックスメタロプロテアーゼ(MMP)は、心筋梗塞後の心室リモデリングに重要な役割を担っている。ADAMTS1はMMPの新しいメンバーであるが、心筋梗塞への関与は知られていない。今回我々は、ラット心筋梗塞モデルにおいてADAMTS1のmRNA発現をノーザンブロット法、リアルタイムPCR法、*in situ*ハイブリダイゼーション法により検討した。正常の血管内皮細胞ではmRNAがごく弱く発現していたが、正常の心筋細胞には発現を認めなかった。ノーザンブロットとリアルタイムPCRにより冠動脈結紮後3時間でmRNA発現上昇を認め、*in situ*ハイブリダイゼーション法では血管内皮細胞と心筋細胞に強い発現を認めた。虚血心における梗塞後早期の一過性発現パターンは、他のMMPsの動態とは異なっていた。ADAMTS1は虚血心筋細胞と血管内皮で発現する新しい遺伝子であることが示唆された。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、心筋梗塞部位におけるADAMTS1 (A Disintegrin And Metalloprotease with Thrombospondin motifs-1) の発現をラット心筋梗塞モデルを用いて検討した研究であるが、従来十分確立されていなかった急性心筋梗塞時のADAMTS1の発現に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。